

ドライブって、やっぱり楽しい! シティ滞在と海外レンタカーで アメリカ再訪

今までとはちょっと違うアメリカ旅行がしたい! だったら、シティ滞在とレンタカーでのドライブ旅をオススメしてはいかがだろう。お気に入りの音楽を聴きながら、エンドレスで続くガールズトークに花を咲かせて車を走らせれば、広大な景色の爽快感も一層高まるはず。小さな町に立ち寄って、ポップな雑貨を探して、スーパーでの買い出しもドライブの旅ならラクラク。居心地のよいダイナーで地元の味を楽しむのもいい。仲よし女子での米国ドライブ旅に注目したい。

広大な米国にはドライブに最適といわれるルートがいくつもある。中でもよく知られているのがルート66。1920年代にイリノイ州シカゴとカリフォルニア州サンタモニカを結んだ国道だが、80年代にはその役目を終えた今、古き良き時代のアメリカの象徴ともいえるドライブルートとして、多くの人々を魅了している。

シカゴ・オヘア空港、あるいはシカゴ市街地でレンタカーをピックアップしよう。イリノイ州のルート66は、I-55(州間高速道路)とほぼ平行して断続的に残っている。時にI-55、気がつけばルート66といった感じでドライブを続けられる。どこまでも続くトウモロコシ畑や大豆畑を視界にとらえながらの気持ちのよいドライブが満喫できるだろう。のんびりと2時間も運転するとルート66沿いの町ポンティアックに到着だ。ここではルート66 大殿堂博物館を見学して、ルート66の巨大な標識が描かれた壁画の前で記念撮影。

ポンティアックから1時間強に位置する町アトランタにも立ち寄りしたい。1930年代の雰囲気は今に伝えるザ・パーム・

グリルカフェで、絶品手作りパイとコーヒーで休憩したら、カフェの前に立つ巨大なマニヨン・ジャイアントもカメラに収めたい。

さらに1時間ほど車を走らせれば、リンカーン元大統領ゆかりの町スプリングフィールドに到着。市街地中心部にその見所が集中しているので観光しやすい。エイブラハム・リンカーン大統領博物館は、まるでテーマパークのアトラクションのような趣向が凝らされ、歴史好きにはたまらない。ルート66沿いの町はずれにあるコージードック・ドライブインはアメリカンホットドック発祥の地。ルート66を走るなら、この店の前を素通りすることはできないのだ。地元の人々と国内外各地からの観光客とでいつも賑わっている。

さらに南下すれば、ミシシッピ川を渡ってミズーリ州セントルイスへと進むことになる。ルート66から州西部へと横道にそれて、ほぼミシシッピ川に沿っている景勝ルート、グレートリバーロードを走ってもいい。グレートリバーロード沿いには随所に展望スペースが設けられているので、休憩ポイントに最適だ。



▲写真提供/ Central Illinois Tourism Development

楽しいドライブの旅を満喫するためにも、交通ルールを守って安全運転を心掛けたい。車幅十分なハイウェイを気持ちよく走行していると、いつの間にかスピードが出すぎていたなんてことも多いので要注意だ。夜間の運転は避け、日中、無理のない範囲の距離移動は鉄則。これらルート上の町にはさまざま宿泊施設も充実しているのもうれしい。また、給油は早めの対応を心掛けたい。日本とは異なる交通ルールの事前チェックも大切なこと。たとえば、州や都市にもよるが、右折禁止の標識(「No turn on red(赤信号での右折禁止)」がない限り、赤信号でも一旦停止して右折できる場合も多い。



エイビスレンタカー

予約センター: 0120-31-1911 www.avis-japan.com

AVIS

We try harder.